

弊社取り扱いの トレボン粉剤 DL は製品規格により
SDS が異なりますのでご注意願います。

○農林水産省登録 第 22648 号

ホクサントレボン粉剤 DL … 3kg 規格

SDS は本紙 2 枚目～ 7 枚目

○農林水産省登録 第 16753 号

トレボン粉剤 DL … 1kg 規格

SDS は本紙 8 枚目～ 15 枚目

よろしくお願い致します。

作成日 : 2011年 5月 27日
 改訂日 : 年 月 日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 (商品名)	ホクサントレボン粉剤 DL
会社名	ホクサン株式会社
住所	〒061-1111 北海道北広島市北の里 27 番地 4
担当部門	農業科学研究所
電話番号	011-370-2103
FAX 番号	011-370-2070
e-mail	gyoumuka@hokusan-kk. jp
緊急連絡先	営業部業務課
TEL	011-370-2333
推奨用途及び使用上の制限	農薬
整理番号	22648-0

2. 危険有害性の要約

【GHS 分類】

物理化学的危険性	可燃性固体	区分外	
	自己反応性化学品	区分外	
	自然発火性固体	区分外	
	自己発熱性化学品	区分外	
	水反応可燃性化学品	区分外	
	酸化性固体	区分外	
	有機過酸化物	区分外	
	金属腐食性物質	区分外	
	健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分外
		急性毒性 (経皮)	区分 5
		皮膚腐食性/刺激性	区分 3
		眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分外
		感作性 (皮膚)	区分外
	発がん性	区分 1A	
水生環境 (急性有害性)	区分 1		

* 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

【GHS ラベル要素】

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

皮膚に接触すると有害のおそれ

	軽度の皮膚刺激 発がんのおそれ 水生生物に非常に強い毒性
注意書き	
安全対策	子供の手の届かないところに置くこと。 使用前にラベルをよく読むこと。 使用前に取扱説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 必要な時以外は、環境への放出を避けること。 指定された個人用保護具を使用すること。
応急措置	皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当を受けること。 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。 漏出物を回収すること。
保管	施錠して保管すること。
廃棄	内容物／容器を国及び地方自治体の廃棄物処理に関する法律・条令に従って廃棄すること。
国／地域情報	—

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	ホクサントレボン粉剤 DL
組成情報	
1) 化学名	2-(4-エトキシフェニル)-2-メチルプロピル=3-フェノキシベンジル =エーテル
別名	エトフェンプロックス
含有量	0.5%
化学式	$C_{25}H_{28}O_3$
化審法	(3)-3981
安衛法	4-(14)-178
CAS No.	80844-07-1
2) 化学名	石英
別名	—
含有量	45.6%
化学式	SiO_2
化審法	(1)-548
安衛法	—
CAS No.	14808-60-7
3) 化学名	鉍物質微粉、凝集剤等
別名	—
含有量	53.9%
化学式	—
化審法	—
安衛法	—
CAS No.	—

4. 応急措置

吸入した場合	<p>空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 呼吸が止まっている場合は、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。 呼吸していて嘔吐がある場合は頭を横向きにする。 体を毛布などでおおい、保温して安静を保つ。 意識のない被災者には何も飲み物を与えてはならない。 直ちに医療措置を受ける手配をする。</p>
皮膚に付着した場合	<p>皮膚に付着した場合には直ちに石鹸でよく洗い落とすこと。 水泡、痛みなどの症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。</p>
眼に入った場合	<p>目に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けること。 コンタクトレンズを使用している場合は、固着していないかぎり、取り除いて洗浄すること。</p>
飲み込んだ場合	<p>水でよく口の中を洗浄する。可能であれば、指をのどに差し込んで吐き出させ、直ちに医療措置を受ける手配をする。</p>
応急処置をする者の保護 医師に対する特別な注意事項	<p>「8. 暴露防止及び保護措置」の保護具を着用する。 —</p>

5. 火災時の措置

消火剤	<p>初期火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。 大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。 消火剤として水噴霧、粉末消火薬剤を用いる。</p>
使ってはならない消火剤	<p>特になし。</p>
火災時の特有の危険有害性	<p>当該製品は分子中に窒素、リン、硫黄、ハロゲンを含有しているため火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出する。</p>
特有の消火方法	<p>消火作業は、風上から行う。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。 周囲の設備等の輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。 燃烧源の供給を速やかに止める。 関係者以外は安全な場所に退去させる。</p>
消火を行う者の保護	<p>消火作業の際は、必ず「8. 暴露防止及び保護措置」の保護具を着用する。 消火活動は風上から行ない、有毒なガスの吸入を避ける。</p>

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	<p>屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。 風上から作業し、風下の人を退避させる。 着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。 漏出時の処理を行なう際には、必ず「8. 暴露防止及び保護措置」の保護具を着用すること。</p>
環境に対する注意事項	<p>流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。</p>
封じ込め及び浄化の 方法・機材	<p>飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。</p>

二次災害の防止策

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

取扱いは、換気のよい場所で行う。
 作業場の換気を十分に行う。
 取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。
 屋外での取扱いは、できるだけ風上から作業する。
 取扱いの都度、容器を密閉する。
 取扱い場所には、関係者以外の立入りを禁止する。
 眼、皮膚、衣類に付けないこと。
 保護手袋および保護眼鏡を着用すること。
 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
 容器を転倒、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。

局所排気・全体換気

取扱う場合は、局所排気内、または全体換気の設備のある場所で取扱う。

注意事項

みだりに、粉じんが発生しないように取り扱う。
 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意する。
 かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

安全取扱い注意事項

特になし。

保管

適切な保管条件

換気のよい／涼しい場所で容器を密閉し、保管する。
 日光から遮断すること。
 施錠して保管すること。

安全な容器包装材料

別の容器に小分けして保管しないこと。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

取扱いについてはできるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。
 取扱いについては、全体換気装置を設置した場所で行う。
 取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。

管理濃度

未設定

許容濃度

日本産業衛生学会（2005年版） 3mg/m³（エトフェンプロックス）
 日本産業衛生学会勧告値
 第1種粉じん 吸入性粉じん 0.5mg/m³
 総粉じん 2mg/m³
 吸入性結晶質シリカ 吸入性粉じん 0.03mg/m³

保護具

呼吸器の保護具

防護マスク
 消火の際は防毒マスクを着用することが望ましい。

手の保護具

ゴム手袋
 消火の際は耐熱性手袋を着用することが望ましい。

目の保護具

保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具

帽子、ゴム長靴、不浸透性防除衣

9. 物理的及び化学的性質

外観	類白色粉末
臭い	データなし
pH	6.1 (20%懸濁液)
融点/凝固点	データなし
沸点、初留点と沸騰範囲	該当しない
引火点	引火点なし
自然発火温度	データなし
燃焼又は爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
みかけ比重	0.97
溶解性 (水)	不溶
オクタノール/水分配係数	データなし
分解温度	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	当該製品は分子中に窒素、リン、硫黄、ハロゲン含有しているため加熱時に刺激性もしくは有毒なガスを放出する。
危険有害反応可能性	特になし
避けるべき条件	高温、多湿、極低温
混蝕危険物質	特になし
危険有害な分解生成物	熱分解により一酸化炭素、シアン化水素、窒素酸化物、リン酸化物、硫黄酸化物、ハロゲン化水素が発生する。

11. 有害性情報

急性毒性	経口 ラット (14日間) LD ₅₀ >5000mg/kg (♂♀) ¹⁾ 経皮 ラット (14日間) LD ₅₀ >2000mg/kg (♂♀) ¹⁾
皮膚腐食性/刺激性	ウサギ (3日間) 軽度の刺激性 ¹⁾
眼に対する重篤な損傷刺激性	ウサギ (3日間) 刺激性なし ¹⁾
呼吸器又は皮膚感作性	皮膚 モルモット (3日間) 感作性なし ¹⁾
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	IARC68 (1997) は 1 (ヒトに対して発がん性を示す)、NTP RoC(11 th , 2005)は K (ヒト発がん性があることが知られている物質)、産衛学会勧告 (2005) は 1 (人間に対して発がん性のある物質) に分類している。[石英 (結晶質シリカ)]
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	魚毒性 ¹⁾		
	コイ	LC ₅₀ (96 時間)	>1000mg/L
	オオミジンコ	EC ₅₀ (48 時間)	>1000mg/L
	藻類	EbC ₅₀ (0-72 時間)	270mg/L
残留性/分解性	データなし		
生態蓄積性	データなし		
土壤中の移動性	データなし		

13. 廃棄上の注意

国及び地方自治体の廃棄物処理に関する法律・条令に従う。
廃棄物を河川、下水道等に流さない。

14. 輸送上の注意

国内規制	消防法、毒劇物取締法、船舶安全法、航空法等の規定に従った容器、包装、表示、積載、輸送方法により輸送する。
輸送の特定の安全対策及び条件	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。食品、飼料、肥料、種子とできるだけ混載しない。

15. 適用法令

農薬取締法	登録番号 第 22648 号
労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9)、政令番号 312 号 (シリカ) 法第 22 条、粉じん障害防止規則別表第 1 (シリカ)

16. その他の情報

問い合わせ先	ホクサン株式会社 営業部業務課 北海道北広島市北の里 27 番地 4 TEL 011-370-2333
その他引用文献	1) 農薬登録申請書

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象にしたものであって、特別な取扱いをする場合は用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	トレボン®粉剤 DL
供給者の会社名称、住所及び電話番号	
会社名称	三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社
住所	東京都中央区日本橋一丁目 19 番 1 号
担当部門	国内マーケティング部
電話番号	03-5290-2740
FAX 番号	03-3231-1176
整理番号	AGA10230Ja_07
推奨用途及び使用上の制限	農薬（殺虫剤）

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

【健康に対する有害性】

発がん性	区分 1A
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 1 (呼吸器系)
(反復ばく露)	区分 1 (呼吸器系、腎臓)

【環境に対する有害性】

水生環境有害性	
短期(急性)	区分 1
長期(慢性)	区分 1

*記載のないものは区分に該当しない、あるいは分類できない。

GHS ラベル要素

【絵表示又はシンボル】



【注意喚起語】

危険

【危険有害性情報】

- H350: 発がんのおそれ
H370: 呼吸器系の障害

H372: 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器系、腎臓の障害

H410: 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

【注意書き】

[安全対策]

- P201: 使用前に取扱説明書入手すること。
- P202: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- P260: 粉じんを吸入しないこと。
- P264: 取扱い後は、手や顔等をよく洗うこと。
- P270: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- P273: 必要なとき以外は、環境への放出を避けること。
- P280: 保護手袋、保護眼鏡、保護マスク、保護衣、保護面を着用すること。

[応急措置]

- P308+P311: ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。
- P314: 気分が悪いときは、医師の診察あるいは手当てを受けること。
- P391: 漏出物を回収すること。

[保管]

- P405: 施錠して保管すること。

[廃棄]

- P501: 内容物又は容器を廃棄する場合は、該当法規に従い、都道府県知事等に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること。使用済みの容器は、他の用途に使用しないこと。

3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別 : 混合物
- 化学名又は一般名 : 2-(4-エトキシフェニル)-2-メチルプロピル 3-フェノキシベンジル エーテル混合物
- 別名 : エトフェンプロックス製剤

成分	エトフェンプロックス	鉛物質微粉等
含有量	0.50%	99.5%
官報公示整理番号		
化審法	(3)-3981	-
安衛法	4-(14)-178	-
CAS RN®	80844-07-1	-

その他危険有害成分

成分名称	CAS RN®	含有量
結晶質シリカ	14808-60-7	73%
酸化アルミニウム	1344-28-1	18%
酸化チタン	13463-67-7	0.91%
鉛油	64742-54-7	0.20%

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪い時は、医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぐ。
付着した製品を拭き取り、水又は微温湯で洗い流す。
外観に変化が見られたり痛みが続く場合には、医師の手当てを受ける。
- 眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で洗浄する。
洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行きわたるように洗浄する。
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。
刺激が続く場合、速やかに眼科医の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、直ちに医師の手当てを受ける。
無理に吐き出させない。
被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。
毛布等で保温して安静に保つ。
- 応急措置をする者の保護 : 救助者は有害物質に触れないよう、手袋やゴーグル、マスク等の保護具を着用する。
-

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 泡、粉末、二酸化炭素、水、砂
- 使ってはならない消火剤 : 特になし
- 特有の危険有害性 : 火災によって刺激性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
- 特有の消火方法 : 火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。
危険なくできる時は、燃焼の供給源を速やかに止める。
移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
容器、周囲の設備等に散水して冷却する。
消火活動は、可能な限り風上から行う。
- 消火を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。
-

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 漏出した場所の周辺にロープを張る等して、関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業の際は、必ず適切な保護具を着用し、漏出物との接触及

び粉じんの吸入を避ける。

- 環境に対する注意事項 : 河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 漏出したものをすくいとり、又は掃き集めてドラム等に回収する。
二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
危険なくできる時は、漏出源を遮断し、漏れを止める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 換気の良い場所で取り扱う。
屋内で取り扱う場合は、「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
吸入や皮膚への接触を防ぎ、眼に入らないように適切な保護具を着用する。
必要な時以外は、環境への放出を避ける。

- 安全取扱注意事項 : 容器を転倒、落下させ、衝撃を加える、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしない。
みだりに粉じんが発生しないように取り扱う。

- 接触回避 : 「10. 安定性及び反応性」を参照。

- 衛生対策 : 休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗う。手袋等の汚染された保護具を持ち込まない。
指定された場所以外では、飲食、喫煙を行ってはならない。

保管

- 安全な保管条件 : 容器を密閉し、換気の良い涼しい場所に施錠して保管する。
安全な容器包装材料 : クラフト紙袋、クラフト加工紙袋等

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会	ACGIH
鉱物性粉じん	0.034 mg/m ³	第1種粉じん 吸入性粉じん 0.5 mg/m ³ 総粉じん 2 mg/m ³	
吸入性結晶質シリカ		0.03 mg/m ³	TWA 0.025 mg/m ³
イトエンプロックス		3 mg/m ³	

- 設備対策 : 屋内で取り扱う場合には、全体換気装置を設置する。
密閉された装置、機器又は局所排気装置等を使用しなければ取り扱ってはならない。
取り扱う場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具	: 農薬用マスク
手の保護具	: 保護手袋
眼、顔面の保護具	: 保護眼鏡、ゴーグル、保護面
皮膚及び身体の保護具	: 保護服、保護帽子、保護長靴等

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体(粉末)
色	: 類白色
臭い	: わずかな特異臭
融点/凝固点	: 知見なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	: 知見なし
可燃性	: 可燃性固体の区分には該当しない。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: 知見なし
引火点	: 知見なし
自然発火点	: 知見なし
分解温度	: 知見なし
pH	: 7.7 (20%)
動粘性率	: 知見なし
溶解度	: 知見なし
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	: 知見なし
蒸気圧	: 知見なし
密度及び/又は相対密度	: 知見なし
相対ガス密度	: 知見なし
粒子特性	: 粒径範囲 45 μ m 以下
見掛け比重	: 0.92

10. 安定性及び反応性

反応性	: 知見なし
化学的安定性	: 通常の保管条件下で安定。
危険有害反応可能性	: 知見なし
避けるべき条件	: 加熱
混触危険物質	: 知見なし
危険有害な分解生成物	: 燃焼時、有害ガスを発生する。

11. 有害性情報

急性毒性

経口	: ラット	LD ₅₀	>5000 mg/kg	
経皮	: ラット	LD ₅₀	>2000 mg/kg	
吸入	: 知見なし			
皮膚腐食性/刺激性	: ウサギ	刺激性なし		
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: ウサギ	極軽度刺激性		
		結膜発赤及び浮腫	24 時間後までに消失	
呼吸器感作性	: 知見なし			
皮膚感作性	: モルモット	陰性		
生殖細胞変異原性	: 知見なし			
発がん性	: 区分 1A の結晶質シリカを 73%含む。			[区分 1A]
生殖毒性	: 知見なし			
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分 1(呼吸器系)の結晶質シリカを 73%含む。			[区分 1 (呼吸器系)]
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分 1(呼吸器系、腎臓)の結晶質シリカを 73%、区分 1(肺)の鉱物性物質を約 20%含む。			[区分 1 (呼吸器系、腎臓)]
誤えん有害性	: 知見なし			

12. 環境影響情報

水生環境有害性

短期(急性)	: 甲殻類の急性データに基づき、区分 1 とした。	[区分 1]
長期(慢性)	: 急性区分 1 であり、急速分解性が不明であることから区分 1 とした。	[区分 1]

生態毒性

魚類	: コイ	LC ₅₀ (96H)	1000 mg/L
甲殻類	: ミジンコ	EC ₅₀ (48H)	0.189 mg/L
藻類	: 緑藻	EbC ₅₀ (0-72H)	>1000 mg/L

残留性・分解性	: 知見なし
生態蓄積性	: 知見なし
土壤中の移動性	: 知見なし
オゾン層への有害性	: 知見なし

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、

環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

- 残余廃棄物 : 都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。
廃棄処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
- 汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。
都道府県知事等の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。
使用済みの容器は、他の用途に使用しない。
-

14. 輸送上の注意

国際規制

- 国連番号 : UN3077
品名(国連輸送名) : 環境有害性物質、固体、n.o.s. (エトフェン^oロックス混合物)
国連分類 : 9
容器等級 : III
海洋汚染物質 : 該当

国内規制

- 陸上輸送 : 道路法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件

- : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
車両、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具等を備えておく。
該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。

緊急時応急措置指針番号 : 171(低、中程度の危険性物質)

15. 適用法令

- 消防法 : 非危険物
毒物及び劇物取締法 : 非該当

労働安全衛生法

:

第 57 条施行令第 18 条別表第 9 名称等を表示すべき危険物及び有害物	
結晶質シカ	73%
酸化アルミニウム	18%

第 57 条の 2 施行令第 18 条の 2 別表第 9 名称等を通知すべき危険物及び有害物	
結晶質シカ	73%
酸化アルミニウム	18%
酸化チタン (IV)	0.91%
鉍油	0.20%

化学物質排出把握管理促進法: 非該当

農薬取締法 : 登録番号第 16753 号

16. その他の情報

記載内容については現時点で入手した資料に基づいて作成しております。記載のデータ及び評価については必ずしも十分ではありませんので、取扱いには注意して下さい。

又、含有量、物理的及び化学的性質、危険・有害性等の記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

なお、注意事項等については通常の実施を前提としたものですので、特別な取扱いをする場合には、さらに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。